

平成 26 年 7 月 9 日

平成 26 年度 船員教育機関と日本船主協会・内航海運業界との
人材確保・育成に関する懇談会について

このほど、当協会（九州地区船主会 鶴丸俊輔議長）と九州地区船員対策連絡協議会（原田勝弘 会長）との共催により平成 26 年 7 月 3 日（木）福岡市において、人材確保・育成に関する懇談会を開催した。当協会からは、鶴丸俊輔九州地区船主会議長、栗林宏吉内航委員長他が参加した。

同懇談会は今年の開催で 6 回を数え、若年船員の確保・育成を目的として船員教育機関と内航海運業界との間で率直な意見交換を行っている。

今回の懇談会では、各教育機関から入学・就職状況の実態の他、学生の海運に対する意識などについて報告があり、海運事業者からは新卒船員の採用状況や教育機関への要請など、人材の確保育成に関して双方から活発な意見交換が交わされた。また、九州運輸局からは、海技士の ECDIS 限定及び免状更新等に係る制度変更、並びにこれから実施する船員教育機関の生徒への海上職への意識調査について、説明がなされた。

会議全体を通し、内航海運業を支える人材の確保育成についての諸課題は残されているが、教育機関と船社側との率直な意見交換を継続的に実施し、双方の立場を理解することが今後の人材確保育成策にとって重要であることが確認された。

なお、当日九州西部を襲った豪雨による交通障害のため、当初出席を予定していた長崎県立長崎鶴洋高等学校および国立口之津海上技術学校が急遽欠席となった。

参加一覧

【教育機関】

水産系高校

山口県立大津緑洋高等学校、福岡県立水産高等学校、熊本県立苓洋高等学校、大分県立津久見高等学校海洋科学学校、宮崎県立宮崎海洋高等学校、鹿児島県立鹿児島水産高等学校、沖縄県立沖縄水産高等学校

海上技術学校

海技教育機構（教育企画部）、国立唐津海上技術学校

【内航海運事業者】

日本船主協会

九州地区船主会 鶴丸海運、日本サルヴェージ、商船三井、宇部興産海運、
内航委員会 栗林商船、大窯汽船

九州地区船員対策連絡協議会

芙蓉海運、祝林タンカー、松盛汽船、大旺海運、旭海運、青崎海運、日之出海運

九州地方海運組合連合会

富士海運、南国砂利、栄和産業、

【関係省庁等】

国土交通省九州運輸局、海事振興連盟



▲挨拶する鶴丸九州地区船主会議長。(左から2人目は当協会栗林内航委員長)



▲挨拶する原田 九州地区船員対策連絡協議会会長



▲懇談会の模様